

第 6 章 健康事業

健康組合の取組									
予算 科目 分類	注1) 事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費 (千円)	実施状況・時期	振り返り
			資格	対象 事業所	性別	年齢			
1 特定被保険者	特定健康診査 【目的】 特定健診の受診率向上および加入者の健康維持。 【概要】 事業主の行う定期健診と併せて健保が実施。	被保険者 全て	男女 40～74 該当者	基準 170,777	・受診者数 13,155 人 ・実施率 91.5%	受診促進 ・個別にメールで健診を図る ・未受診者フォローメール ・各社に未受診者リストを提供し受診促進依頼	・当日キャンセルの減少 ・新規コロナ対応(安全配慮、速やかな健診業務再開、確実な実施)	4	
1 特定退職者、任意継続者、全扶養家族	特定健康診査 【目的】 特定健診の受診率向上および加入者の健康維持。 【概要】 全国をカバーできる健診仲介業者へ一括して委託。	被保険者 全て	男女 40～74 該当者	基準 90,741	・受診者数 6,969 人 ・受診率 51.1%	受診促進 ・健保利用者ガイドによる健診案内 ・機関紙によるアプロモーション ・はがき、チラシ、電話勧奨・保険証送付封筒 に家族健診を紹介したガイドの同封開始	・実施率の悪い、特例退職者、任意継続・被扶養者に、特定健診の必要性を啓発し、受診内容を強化する。 ・被扶養者に魅力的な健診、総務的に受診が必要と感じさせるプロモーションを行う	3	
3 特定被保険者	特定保健指導 【目的】 特定保健指導の受診率向上。 【概要】 事業所の所在場所により複数の機関へ委託。	被保険者 全て	男女 40～74 該当者	基準 45,442	【動機付け支援】 対象者数 1,320 人 実施者数 839 人 実施率 63.6% 【積極的支援】 対象者数 1,495 人 実施者数 838 人 実施率 56.1%	就業中の面談可 ・ICT 面談	・職制による強制力が発揮できない ・特定保健指導対象者率が増えていて、リピーター対策	3	
3 特定保険指導者、任意継続者、全扶養家族	特定保健指導 【目的】 特定保健指導の受診率向上。 【概要】 全国で個別訪問指導可能な業者へ全面委託。	被保険者 全て	男女 40～74 該当者	基準 11,039	【動機付け支援】 対象者数 333 人 実施者数 114 人 実施率 34.2% 【積極的支援】 対象者数 54 人 実施者数 16 人 実施率 29.6%	特定保健指導制度の理解不足 ・プログラムに興味が持てない	1		

健保組合の取組		対象者				実施状況・時期			振り返り		注2) 評価			
子算 事業 分類	事業名	事業の目的および概要	資格	対象者 事業所	性別	年齢	対象者 (千円)	事業費	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因			
7 機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の醸成。 【概要】機関誌（健保の運営、収支、健康被保険者診断、健康情報及び公示）の発行（4回／年）保存版「利用者ガイド」の発行。	被扶養者 全員	男女 0～74	全員	男女 0～74	全員	14,804	14,804	期毎に発行 5月（100号）、8月（101号）、11月（102号）、3月（103号）当健保組合を取り巻く社会的な環境の変化やその背景、医療保険制度の方針性等をはじめ、次の予算・決算、組合会決議事項（公告）等を掲載した。 その他に、重症化対策、口腔衛生等の予防歯科の案内などを含む。また、委託先（法研）の協力を得て外部から的情報も掲載している。（疾患対策予防、メンタルヘルス、禁煙対策）発行部数：平均約15,400部（被保険者自宅発送）なお発送先は任継／特退被保険者、被扶養者有りの被保険者と取り決め、配達誤送者の申出も反映している。 保存版「利用者ガイド」発行 名称：「My Health + 2020 利用者ガイド付：健康診断ガイド」発行した。健康診断、オプション検診、疾病予防、健康情報等の各プログラムについて、利用可能対象者、利用回数、補助金額、個人負担金、利用方法等を簡潔に記載。年度初めに発行し利便性の向上を図った。発行部数：約15,800部（被保険者自宅発送）なお発送先は任継／特退被保険者、被扶養者有りの被保険者	・オリジナル機関誌「My Health」を四半期毎に発行 5月（100号）、8月（101号）、11月（102号）、3月（103号）当健保組合を取り巻く社会的な環境の変化やその背景、医療保険制度の方針性等をはじめ、次の予算・決算、組合会決議事項（公告）等を掲載した。 その他に、重症化対策、口腔衛生等の予防歯科の案内などを含む。また、委託先（法研）の協力を得て外部から的情報も掲載している。（疾患対策予防、メンタルヘルス、禁煙対策）発行部数：平均約15,400部（被保険者自宅発送）なお発送先は任継／特退被保険者、被扶養者有りの被保険者と取り決め、配達誤送者の申出も反映している。 保存版「利用者ガイド」発行 名称：「My Health + 2020 利用者ガイド付：健康診断ガイド」発行した。健康診断、オプション検診、疾病予防、健康情報等の各プログラムについて、利用可能対象者、利用回数、補助金額、個人負担金、利用方法等を簡潔に記載。年度初めに発行し利便性の向上を図った。発行部数：約15,800部（被保険者自宅発送）なお発送先は任継／特退被保険者、被扶養者有りの被保険者	・オリジナル機関誌「My Health」を四半期毎に発行 5月（100号）、8月（101号）、11月（102号）、3月（103号）当健保組合を取り巻く社会的な環境の変化やその背景、医療保険制度の方針性等をはじめ、次の予算・決算、組合会決議事項（公告）等を掲載した。 その他に、重症化対策、口腔衛生等の予防歯科の案内などを含む。また、委託先（法研）の協力を得て外部から的情報も掲載している。（疾患対策予防、メンタルヘルス、禁煙対策）発行部数：平均約15,400部（被保険者自宅発送）なお発送先は任継／特退被保険者、被扶養者有りの被保険者と取り決め、配達誤送者の申出も反映している。 保存版「利用者ガイド」発行 名称：「My Health + 2020 利用者ガイド付：健康診断ガイド」発行した。健康診断、オプション検診、疾病予防、健康情報等の各プログラムについて、利用可能対象者、利用回数、補助金額、個人負担金、利用方法等を簡潔に記載。年度初めに発行し利便性の向上を図った。発行部数：約15,800部（被保険者自宅発送）なお発送先は任継／特退被保険者、被扶養者有りの被保険者	・タイムリーな情報発信 ・項目が増え煩雑化して いたトップページをリ ニューアル ・紙面ページ数を減ら し、全体の構成の見直 しや見やすくする工夫 を図った	・により健保が実施すべき保健事業の周知及び 参加率の向上に寄与 ・メールアドレスが確認 できている現役社員全 員に発行案内メールを 発信 ・紙面が少なくなる中で 加入者の方々に役立 ていただくためトピッ クを厳選し、わかりや すい解説を心掛けた	4
7 健保ホーム ページ	【目的】健保情報、健康情報等の周知。 【概要】事業報告、公告等の掲載、健保各業種事業の説明と申請様式等の格納。	被保険者 全員	男女 0～74	全員	被保険者 全員	男女 0～74	2,444	2,444	Webの特性を活かして、公告、健保ニュース等を掲載し、保険給付事業、保健事業の情報を満喫なく発信した。機関紙 My Health や利用者ガイドをpdfにて掲載。	・保健事業、適用・給付の各内容を見直し、最新の内容を掲載する。 ・新の内容を掲載する。 ・シングルで検索しやすい構成に変更	・保険事業、適用・給付の各内容を見直し、最新の内容を掲載する。 ・新の内容を掲載する。 ・シングルで検索しやすい構成に変更	5		
7 医療費通知	【目的】厚労省の指示に基づいた実施項目とともにジェネリック利用促進も実施する。 【概要】毎月対象者へe-mailまたは郵送で該当月の医療費を通知する。	被保険者 全員	男女 0～74	該当者	被保険者 全員	男女 0～74	1,369	1,369	・被保険者・被扶養者の内、対象者へは 能なICT導入 ・機関紙、ホームページ を利用した啓蒙	・全被保険者が利用可 ・ICTを利用できない方 に対する郵送コスト を降低了	5			
7 後発医薬品差 額の適正化。	【目的】後発医薬品の使用促進、調剤医療被保険者 【概要】効果の高い医薬品を選択し対象者へ ～使用を促進する通知を送付。	被保険者 全員	男女 0～74	該当者	被扶養者 全員	男女 0～74	818	818	・被保険者／被扶養者の内、対象者へは 能なICT導入 ・機関紙、ホームページ を利用した啓蒙	・被扶養者、とくに低年 齢者の使用率向上等、 属性別のアプローチも 必要	5			

予算 科目 注1) 事業 分類	健保組合の取組 注1) 事業名	事業の目的および概要	対象者				振り返り		注2) 評価	
			資格	対象者 事業所	性別	年齢	対象者 (千円)	実施状況・時期		
1 定期健診	【目的】 安全衛生法に基づく社員の健診診断を健保で受託し、特定健診と一元管理する。 【概要】 事業主健診委託内容に基づき健保が受託し、健診機関に全国一元委託する。	被保険者 母体 企業	被保険者 男女 18 ~ 39 該当者							
3 重症化予防 【糖尿病】(一般被保険者)	【目的】 専門医紹介プログラムにより糖尿疾患に起因する遅症患者を抑制する。 【概要】 HbA1c が一定の基準を超えた対象者の受診状況を確認し、希望者へは専門医へ紹介する。	被保険者 全て	被保険者 男女 18 ~ 74 該当者							
3 重症化予防 【糖尿病】(特例退職者、任意継続者、扶養家族)	【目的】 専門医紹介プログラムにより糖尿病に起因する遅症患者を抑制する。 【概要】 HbA1c が一定の基準を超えた対象者の受診状況を確認し、希望者へは専門医へ紹介する。	被保険者 全て	被保険者 男女 19 ~ 74 該当者							
3 重症化予防 【心疾患】(一般被保険者)	【目的】 心疾患の重症化予防 【概要】 発症すると命に係わる虚血性心疾患に対し生活習慣を改める保健指導事業導入により発症リスクを下げる。フランガムリスク 13%以上の対象者を抽出し、久山町モデル分析で同性・同年齢比較しリスク 2 倍以上の者に対して保健指導を実施する。	被保険者 全て	被保険者 男女 40 ~ 65 該当者							
3 重症化予防 【心疾患】(特例退職者、任意継続者、扶養家族)	【目的】 心疾患の重症化予防 【概要】 発症すると命に係わる虚血性心疾患に対し生活習慣を改める保健指導事業導入により発症リスクを下げる。フランガムリスク 13%以上の対象者を抽出し、久山町モデル分析で同性・同年齢比較しリスク 2 倍以上の者に対して保健指導を実施する。	被保険者 全て	被保険者 男女 40 ~ 65 該当者							
7 予防接種	【目的】 感染症を予防する。 【概要】 インフルエンザを含め各種感染症の予防接種費用を補助する。	被保険者 被扶養者 全て	被保険者 被扶養者 男女 0 ~ 74 全員							

健保組合の取組									
子算 事業 分類	注1) 事業名	事業の目的および概要				対象者 (千円)	事業費	振り返り	評価 注2)
		資格	対象者 事業所	性別	年齢			実施状況・時期	
5	I-Support	【目的】被保険者 / 被扶養者の健康相談窓口 【概要】健診結果や日常の健康に関する相談を WEB、電話等で実施	被保険者 被扶養者 全員	男女 0 ~ 74	全員	4,100	4,100	・利用者数 延べ 711人 ・成功・推進要因 ・対象者を全てに拡大し、健康診断結果などについての相談窓口とした。 ・広報活動を広く実施がある(Benefit EXPO、禁煙ビデオなど) ・歯科医師／歯科衛生士による直接の指導及び口腔清掃 ・衛生委員会での講話、社外取材協力による啓発 ・自宅で歯周病のリスクチェックができる	評価 5
7	p-Dental	【目的】予防歯科がもたらす健康新行動の定着を促す。 【概要】歯科医師、衛生士による口腔内チェックと予防歯科に関する個別指導を実施する。被扶養者向けに郵送検査による歯周病リスクチェックを実施する。	被保険者 被扶養者 全員	男女 20 ~ 74	基準 該当者	81,032	81,032	【個別プログラム】 ・5歳毎の希望者に対する実施率 85.1% ・その他希望者 1,826人 【郵送検査】(歯肉溝ハイオマーカー) ・参加率 14.6% ・胃がん 10,145人 ・大腸がん 13,653人 ・乳がん 2,969人 ・子宮がん 4,988人 ・肺がんは、健診受診者に対して100%実施 ・健診と同時実施で受検しやすい ・補助金申請でも受検できき対象者へきめ細かいサービスが提供できる ・総合的ながん検診が受検できる ・社員の定期健康診断および家族健診の代用が可能となり利便性が高い ・早期に発見できたことによる医療費削減効果の測定ができるていない ・受検場所が東京に限られ全国展開ができない ・受診促進 ・健保利用者ガイドによる健診案内 ・機関紙によるプロモーション ・はがき、チラシ、電話勧奨 ・保険証送付封筒に家族健診を紹介したガイドの同封開始	評価 2
1	がん検診	【目的】主要がん検診(胃、大腸、肺、乳房、子宮、前立腺)の早期発見。 【概要】社員の婦人科系検診を除き、原則、定期健診・特定健診受診時に、対象年齢の希望者に対して実施する。同時実施を希望しない対象者に対しては補助金を支給する。	被保険者 被扶養者 全員	男女 20 ~ 74	全員	298,908	298,908	・胃がん 10,145人 ・大腸がん 13,653人 ・乳がん 2,969人 ・子宮がん 4,988人 ・肺がんは、健診受診者に対して100%実施 ・総合的ながん検診が受検できる ・社員の定期健康診断および家族健診の代用が可能となり利便性が高い ・早期に発見できたことによる医療費削減効果の測定ができるていない ・受検場所が東京に限られ全国展開ができない ・受診促進 ・健保利用者ガイドによる健診案内 ・機関紙によるプロモーション ・はがき、チラシ、電話勧奨 ・保険証送付封筒に家族健診を紹介したガイドの同封開始	評価 5
1	がん総合検診	【目的】総合的ながん検診 【概要】国立がん研究センターにおいて5歳未満年齢の対象者へ実施	被保険者 被扶養者 全員	男女 40 ~ 74	基準 該当者	14,504	14,504	・受診者数 371人 ・早期に発見できたことによる医療費削減効果の測定ができるていない ・受検場所が東京に限られ全国展開ができない ・受診促進 ・健保利用者ガイドによる健診案内 ・機関紙によるプロモーション ・はがき、チラシ、電話勧奨 ・保険証送付封筒に家族健診を紹介したガイドの同封開始	評価 4
1	40歳未満健診診断	【目的】安全衛生法に基づく社員の健康診断と同様の健康診断を提供し、対象者の健康を維持。 【概要】19歳以上40歳未満の被扶養者(任被扶養者と特退被扶養者含)向け健康診断プログラム 5歳刻みは特定健診検査項目を実施。	被保険者 被扶養者 全員	男女 19 ~ 44	全員	9,014	9,014	・受診者数 839人 ・受診率 17.0% ・受診促進 ・健保利用者ガイドによる健診案内 ・機関紙によるプロモーション ・はがき、チラシ、電話勧奨 ・保険証送付封筒に家族健診を紹介したガイドの同封開始	評価 5

健保組合の取組		事業の目的および概要					対象者		実施状況・時期		振り返り		
予算 注1) 事業 分類	事業名	事業の目的および概要			資格	対象者 事業所	性別	年齢	対象者 (千円)	事業費	成功・推進要因	課題及び阻害要因	評価 注2)
2	健康ポータル サイト	【目的】ICTを活用した健康情報を発信し、より、加入者のヘルスリテラシー向上させ健康行動に導く。 【概要】特定健診等の予約・健診結果の通知・医療費通知およびジェネリック医薬品情報の通知・各種健康情報の提供	被扶養者	全て	男女	19～74	全員	17,624	• 2月にポータルサイトリニューアル • 使用頻度の低いコンテンツを削除 • 現在のコンテンツは以下 健診結果照会、健診予約、医療費通知、ジェネリック通知、データヘルス情報	• 全ての加入者が利用可能。 • シングルサインオン	• 健康情報提供コンテンツの追加	3	
7	Kenpo-Koe (健保声)	【目的】健保業務に関する問合せ、質問に対して随時、迅速に対応する。また、健保事業の満足度を把握し業務改善に繋げる。被扶養者による加入者とのQ&A溝の足調査は昨年度の利用者にWEBで調査。	被扶養者	全て	男女	0～74	全員	3,000	• 3日以内回答率 100% • 利用者満足調査 47.2% (わからない 52.1%)	• Webによる手軽さ	• 健保ホームページのよくある質問を活用するなど同様の質問が生じないようにする	4	

注1) 1. 健康検査 2. 健康検査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上